

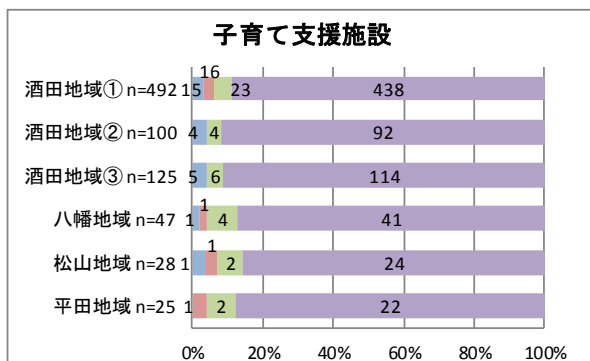
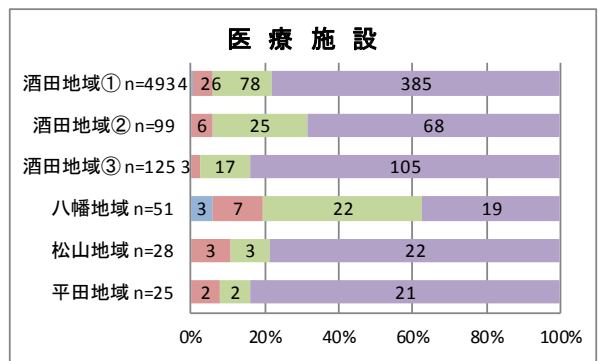
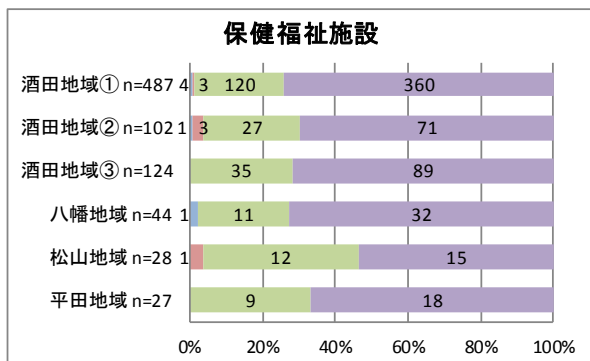
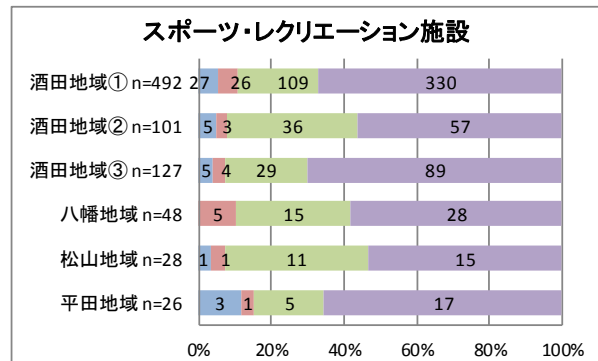
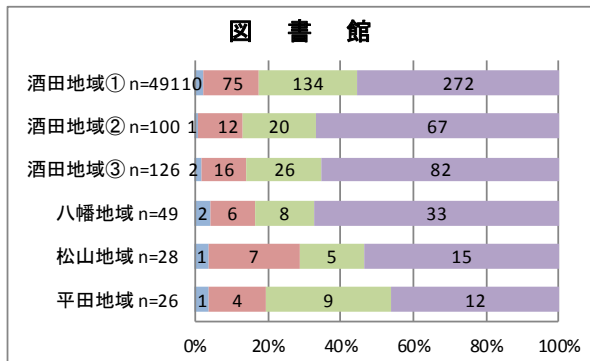
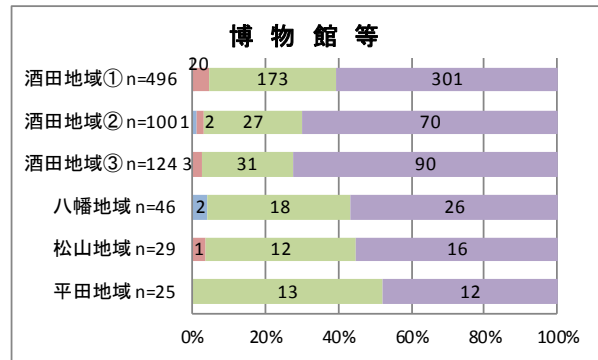
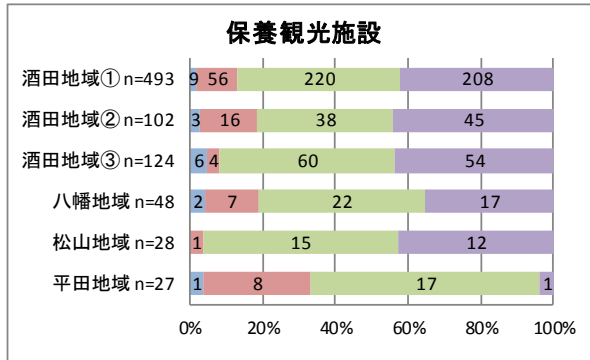
3-2 クロス集計結果 【 居住地域別 】

公共施設およびインフラ施設に関する市民意識について、居住地域による傾向を分析するために、問2～問10についてクロス集計を行いました。結果は以下の通りです。

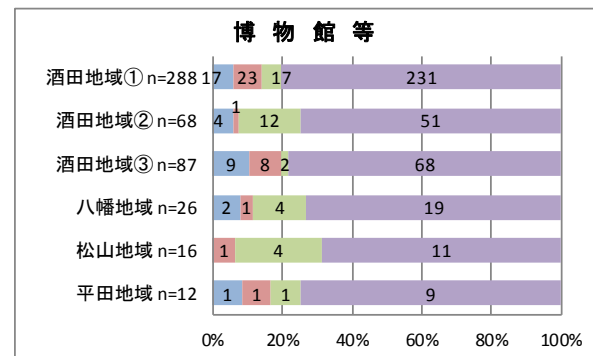
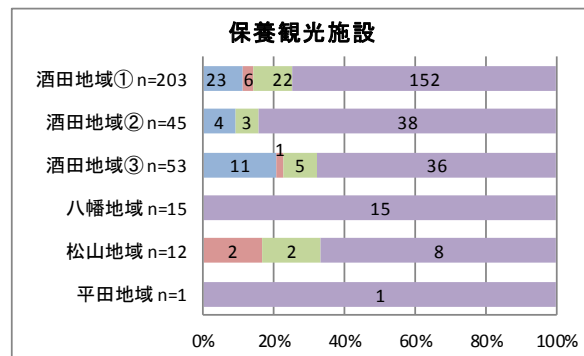
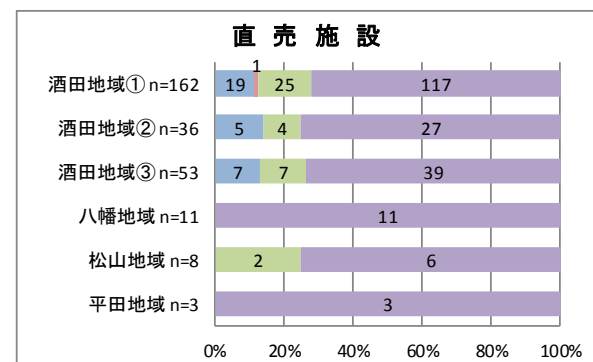
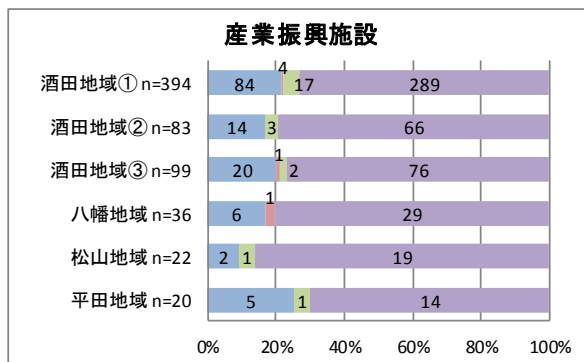
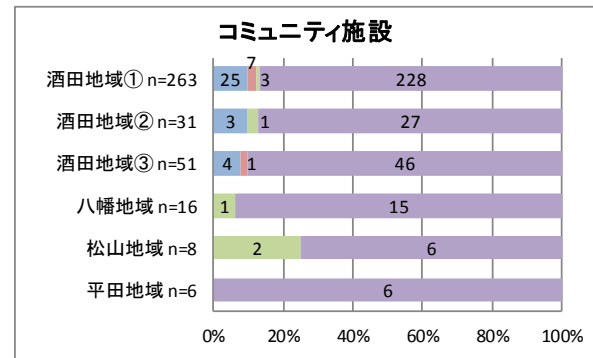
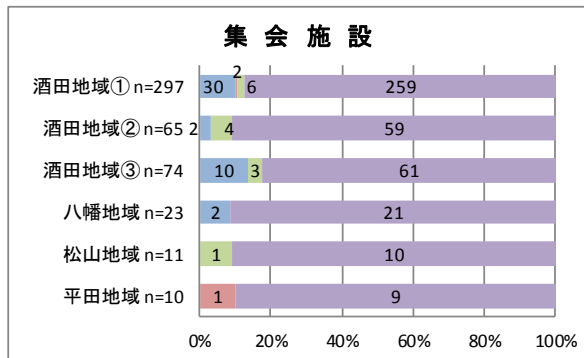
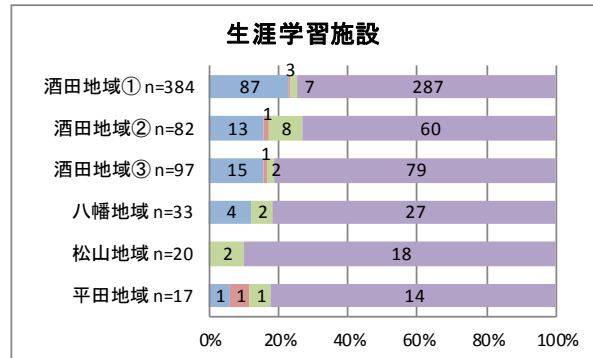
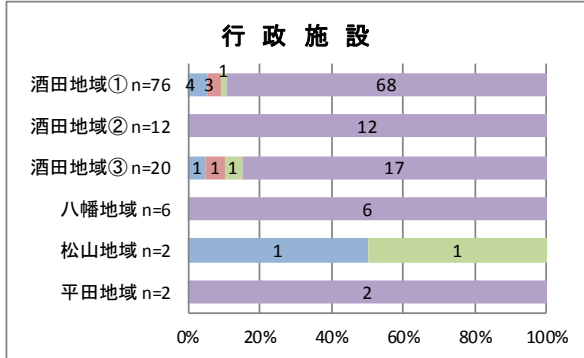
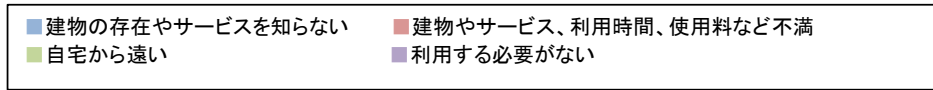
※無回答を除いており、酒田地域④については回答が無かったため除外しています。

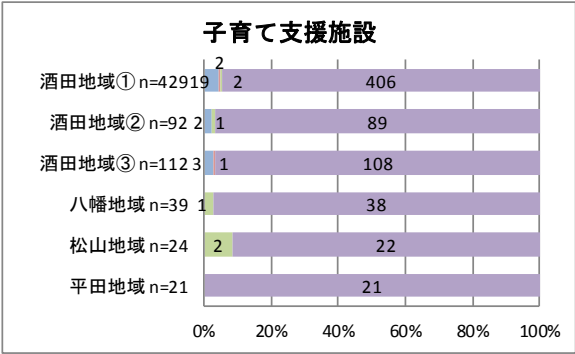
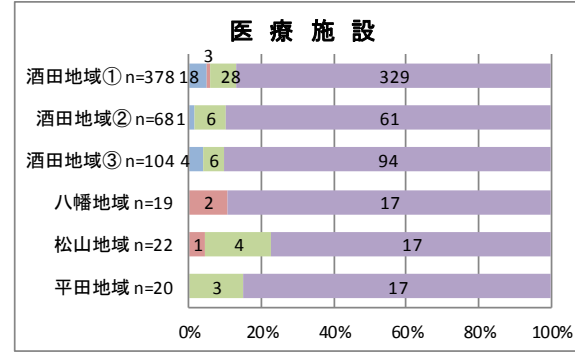
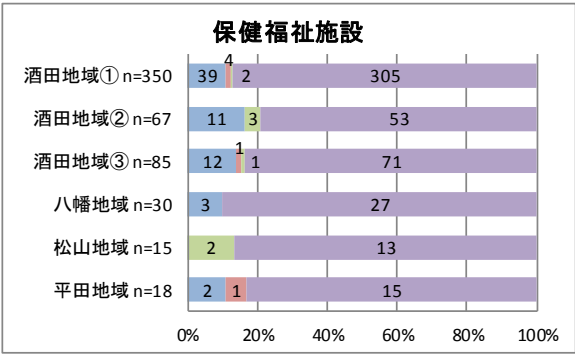
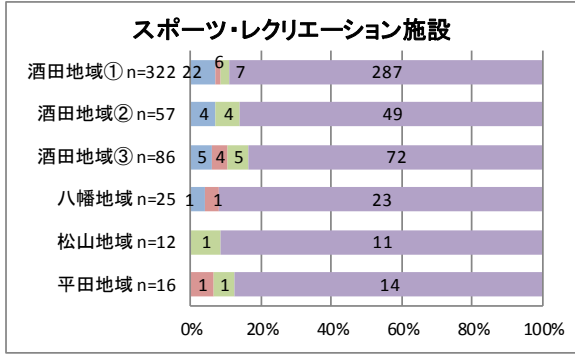
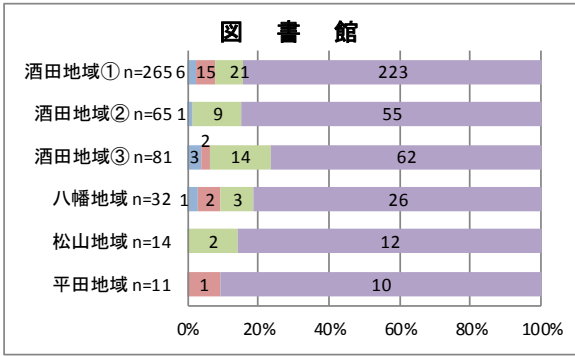
3-2-1 公共施設の利用頻度





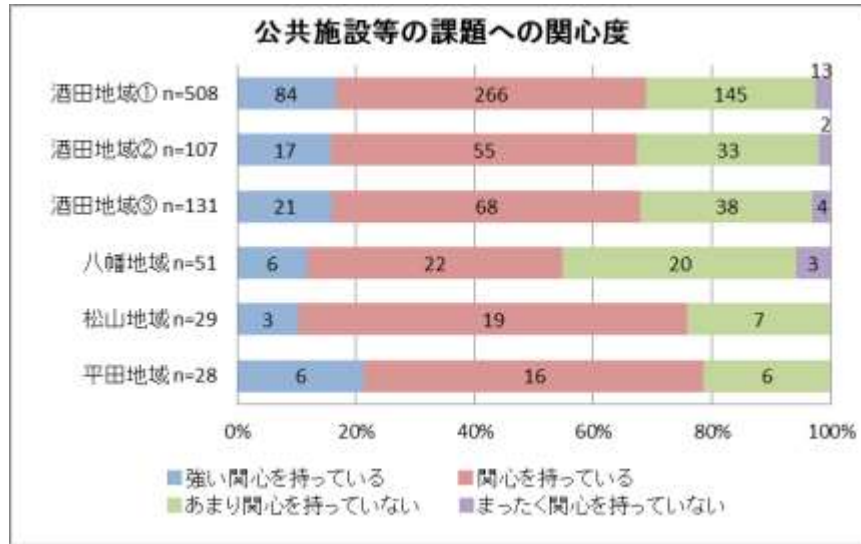
3-2-2 公共施設を利用しない理由





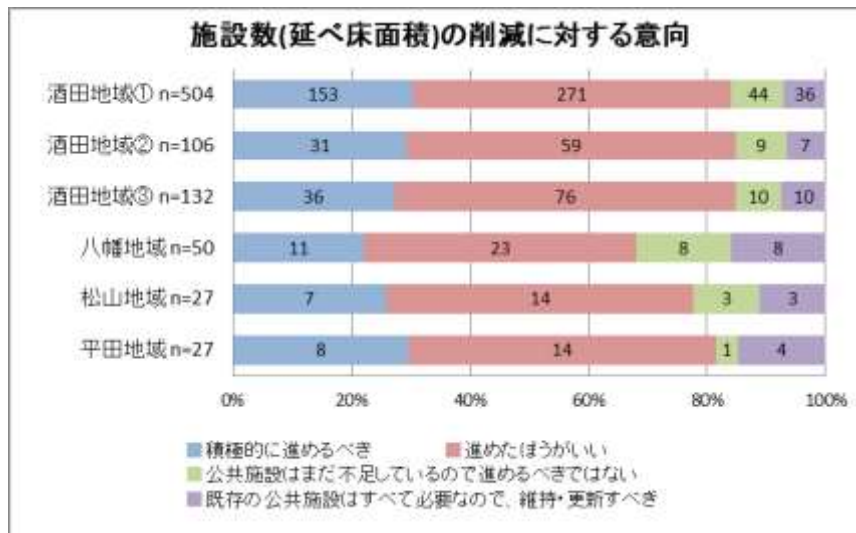
3-2-3 公共施設等の課題への関心度

・松山地域・平田地域では、他の地域に比べ、「強い関心を持っている」と「関心を持っている」の合計が 8割と高くなっている一方、酒田地域①②③では 7 割程度、八幡地域では 5 割程度となっています。



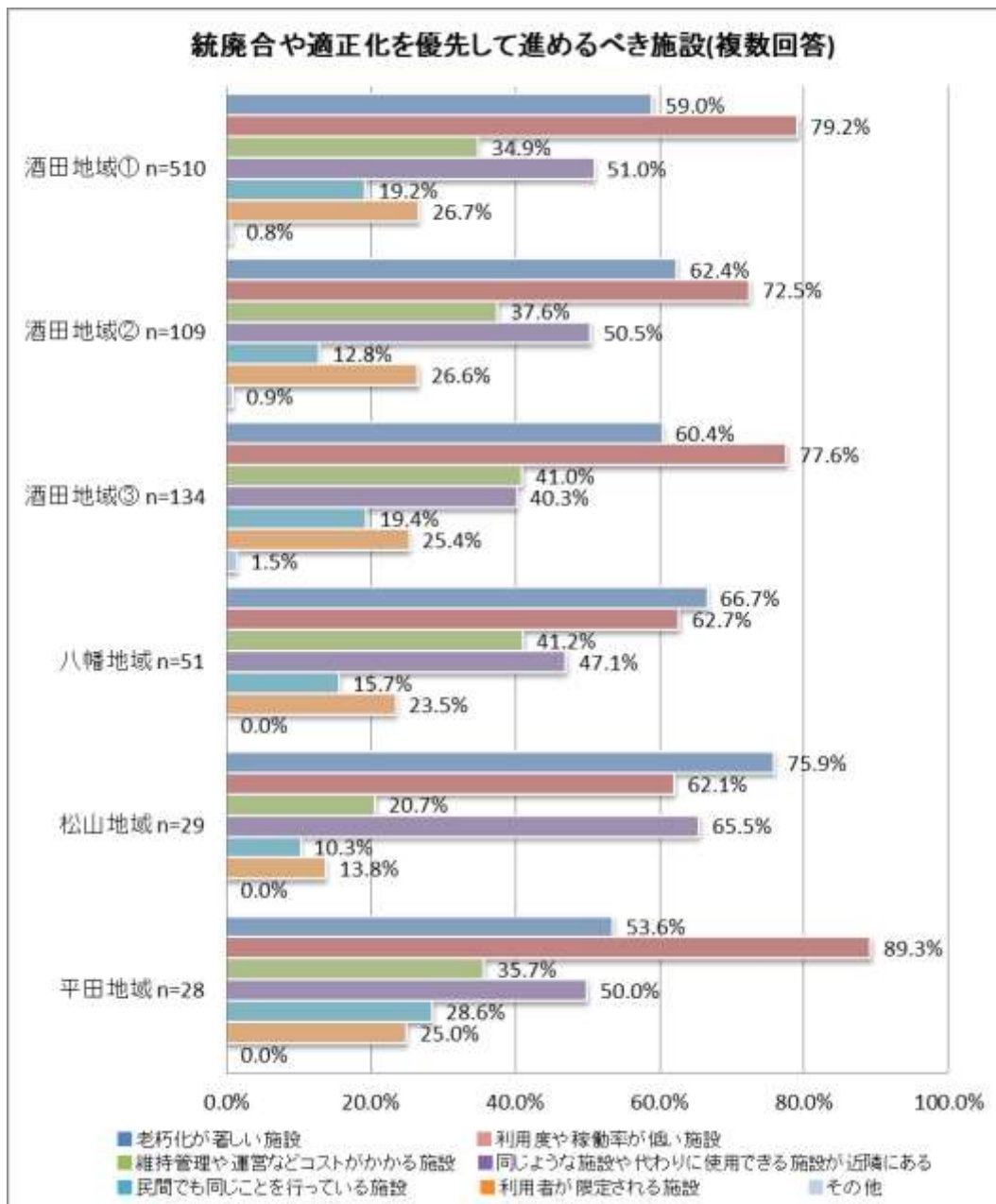
3-2-4 施設数(延べ床面積)の削減に対する意向

・酒田地域①②③、松山地域、平田地域では、「積極的に進めるべき」と「進めたほうがいい」の合計が 8割程度となっている一方、八幡地域では 6 割程度となっています。



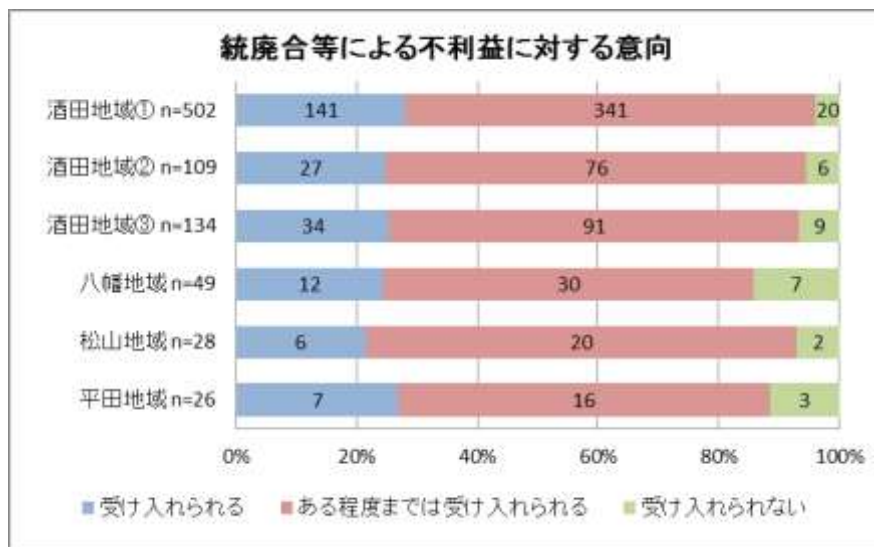
3-2-5 統廃合や適正化を優先して進めるべき施設

- ・松山地域では、「老朽化が著しい施設」が 8 割程度、「同じような施設の代わりに使用できる施設が近隣にある」が 7 割程度と、他の地域よりも高くなっています。
- ・平田地域では、「利用度や稼働率が低い施設」が 9 割と他の地域よりも高くなっています。

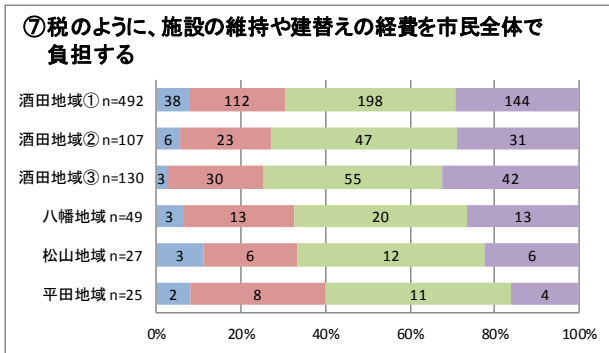
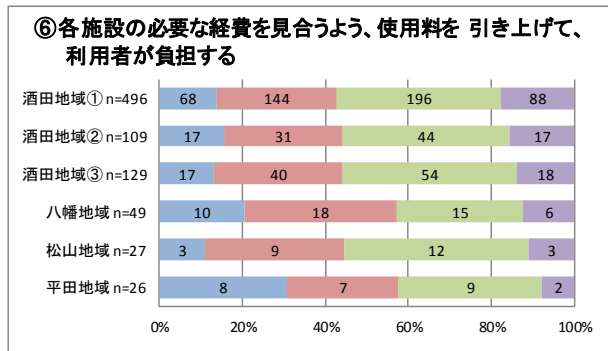
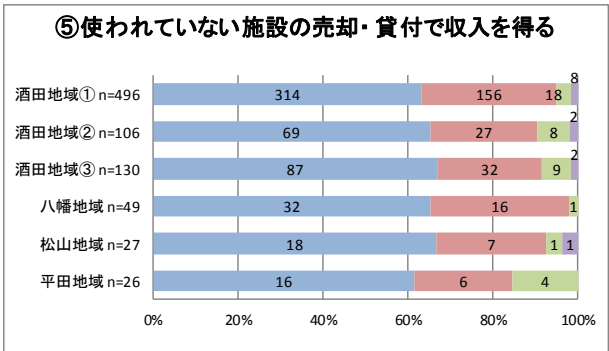
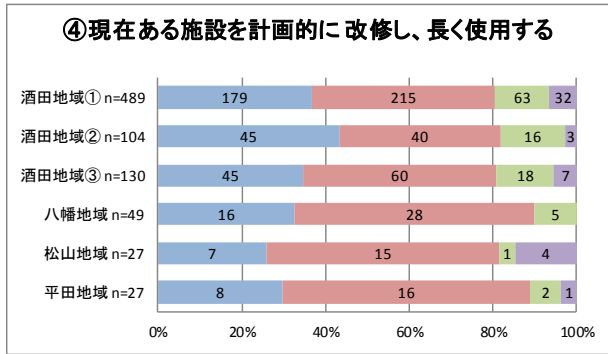
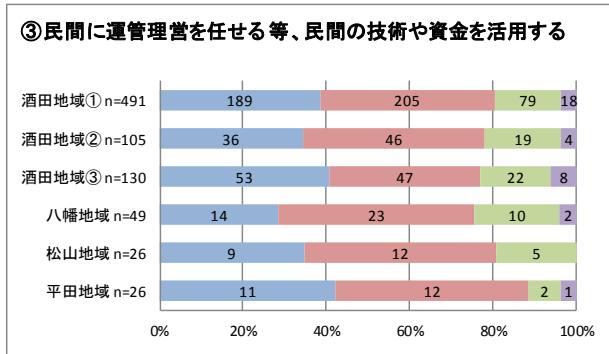
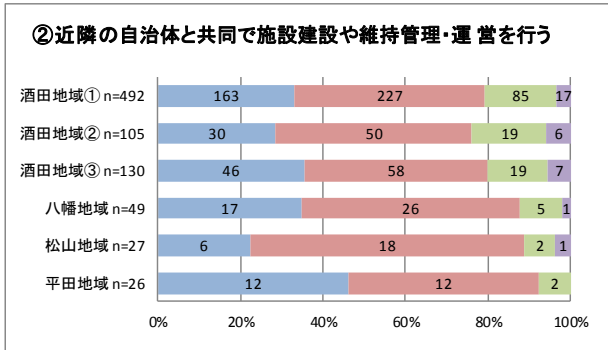
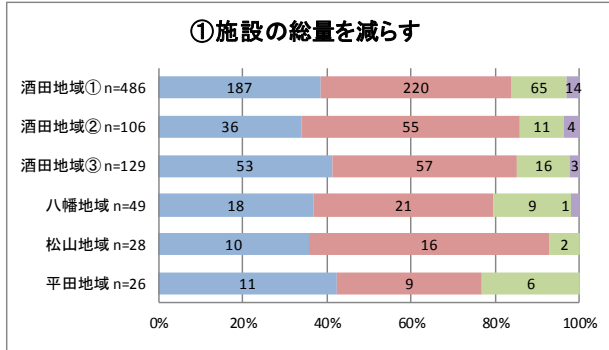
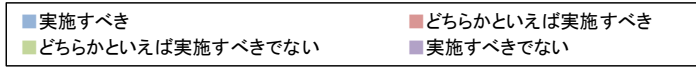


3-2-6 統廃合等による不利益に対する意向

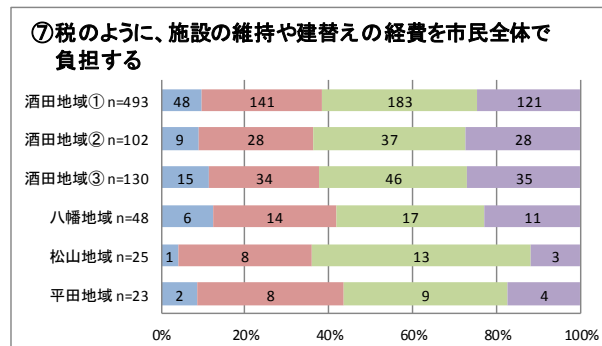
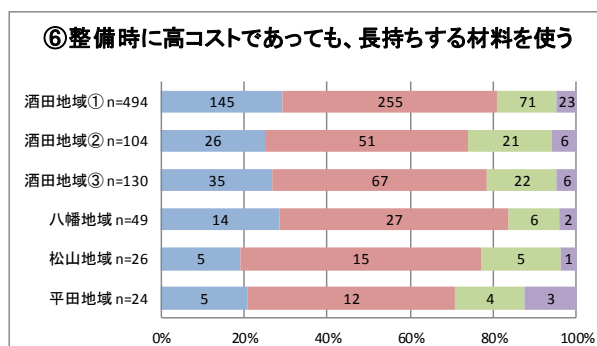
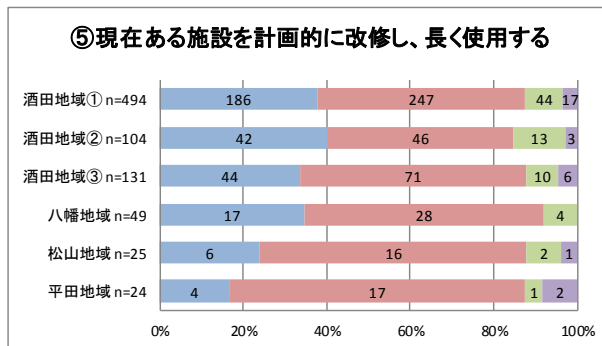
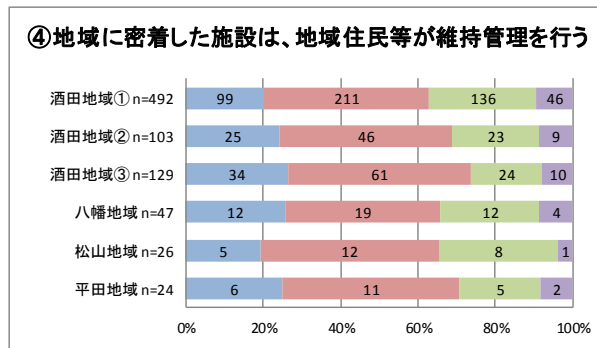
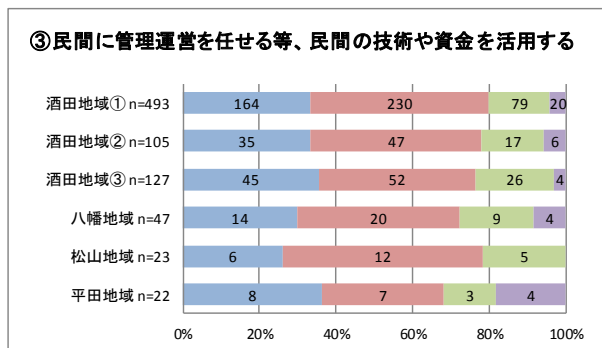
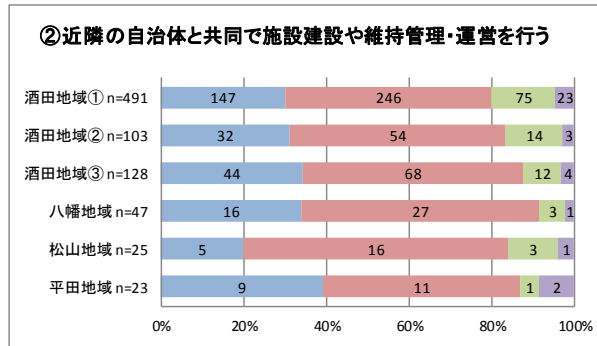
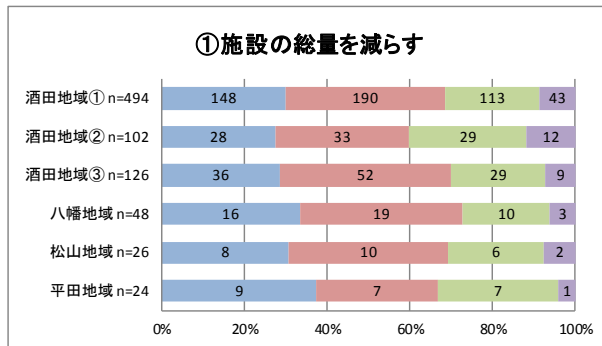
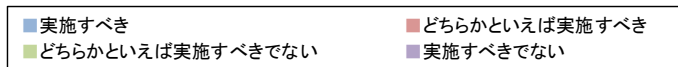
•すべての地域で「受け入れられる」と「ある程度までは受け入れられる」の合計が高くなっていますが、八幡地域、平田地域では「受け入れられない」が1割以上となっています。



3-2-7 公共施設について優先すべき施策

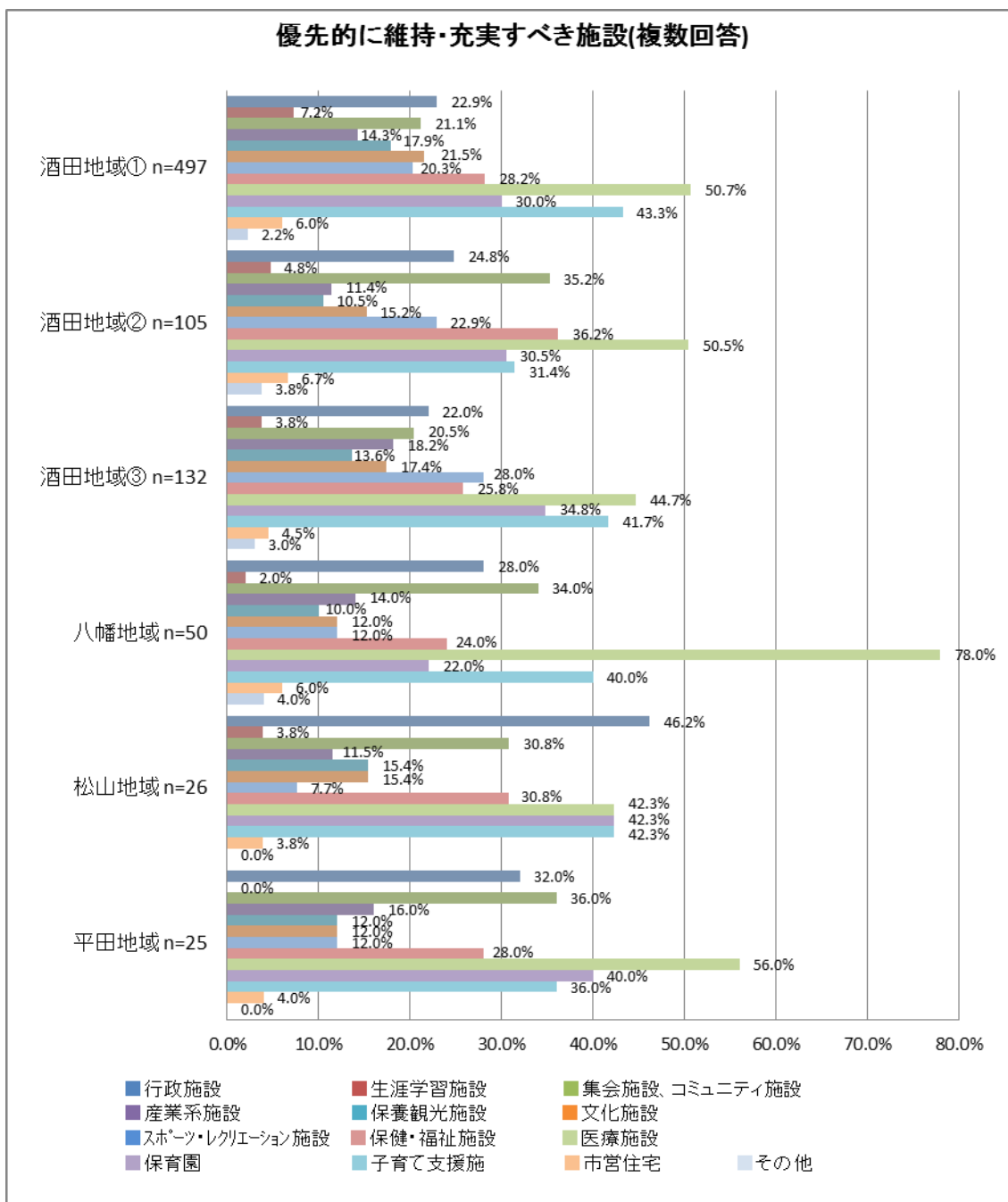


3-2-8 インフラ施設について優先すべき施策



3-2-9 優先して維持・充実すべき施設（複数回答）

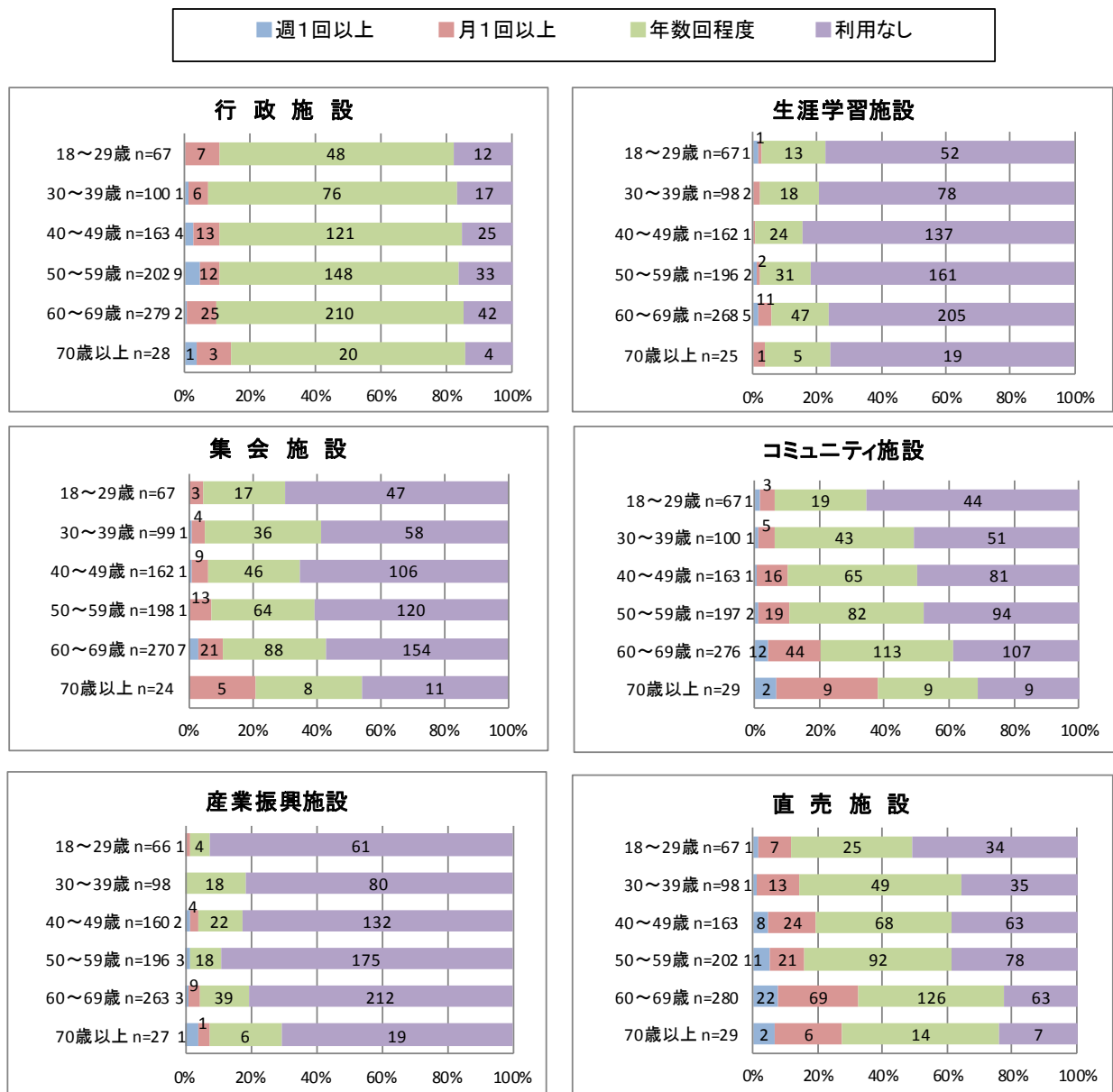
すべての地域で「医療施設」の割合が高くなっており、次いで「保育園」、「子育て支援施設」の順で高くなっています。

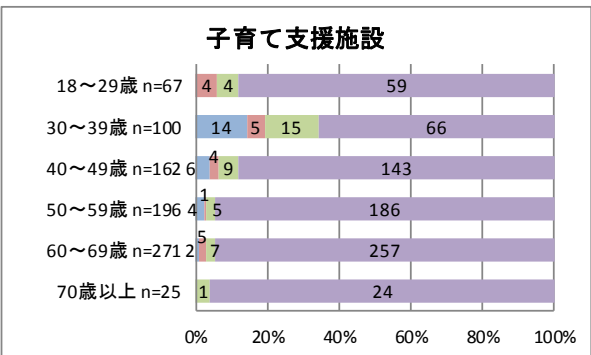
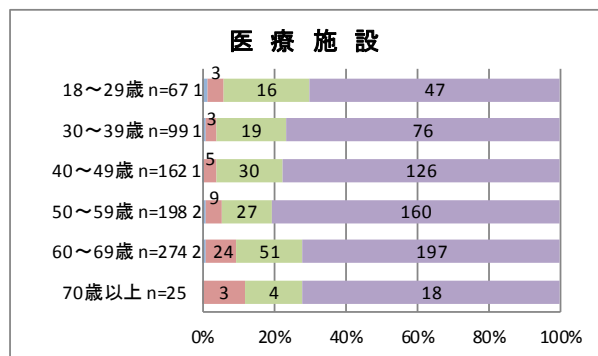
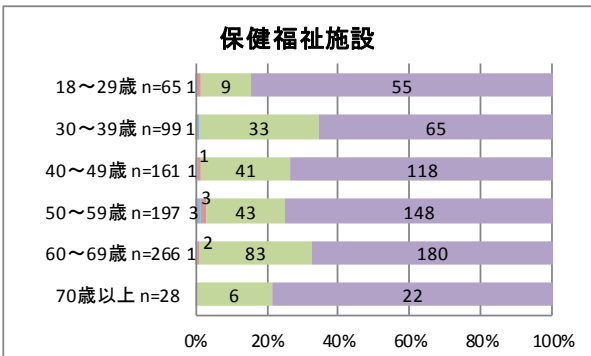
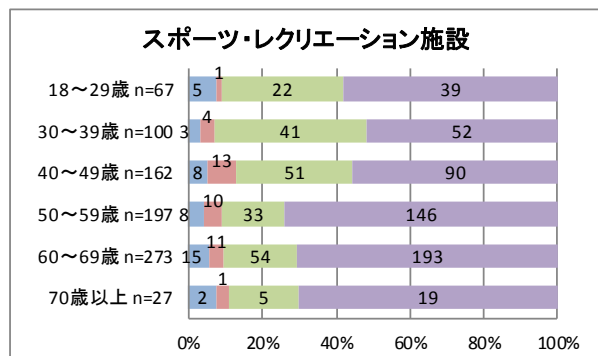
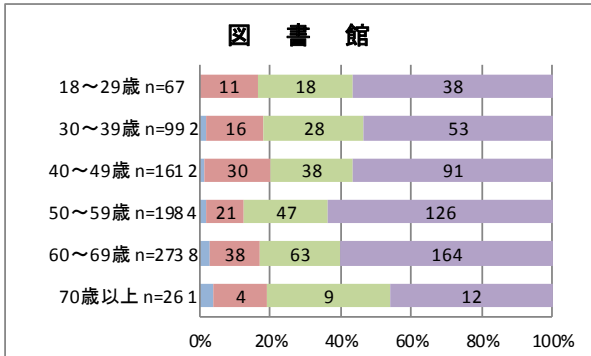
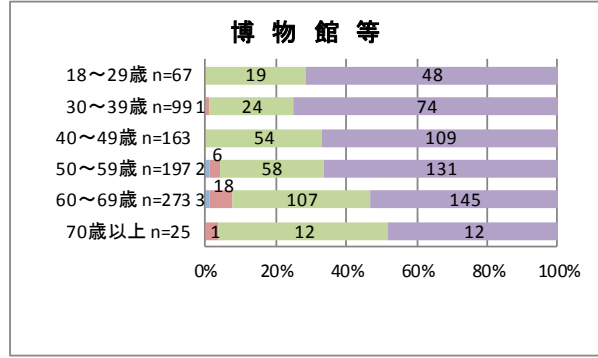
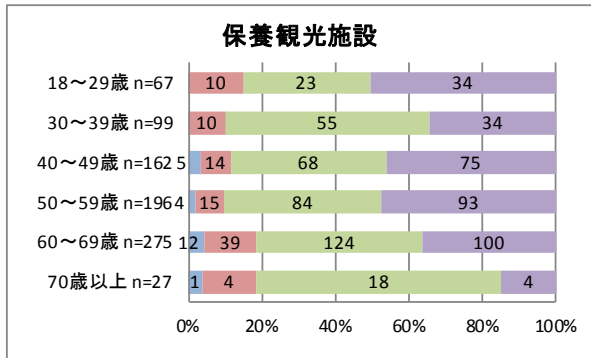


3-3 クロス集計結果【年齢別】

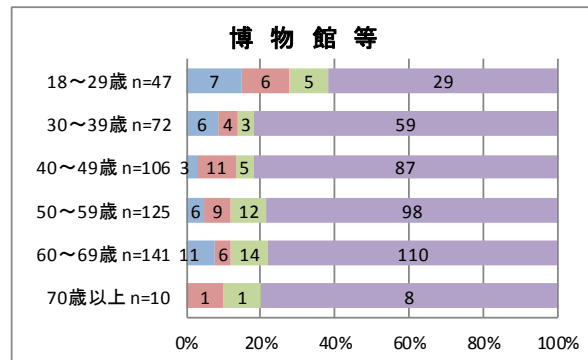
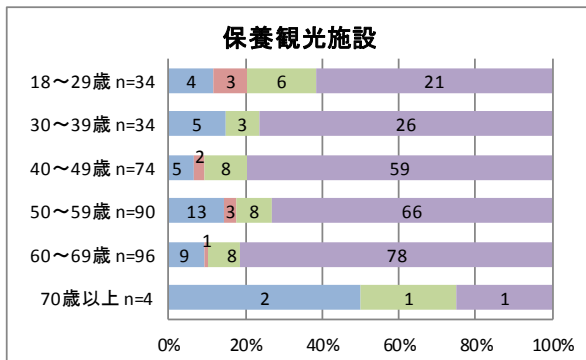
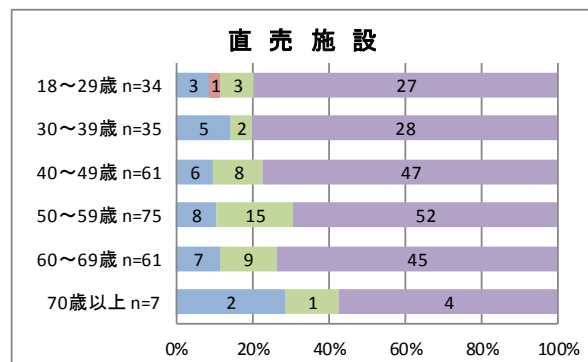
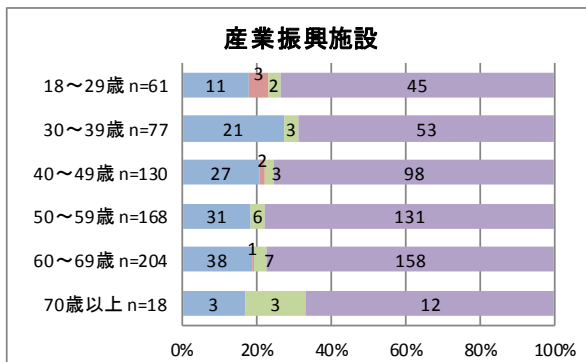
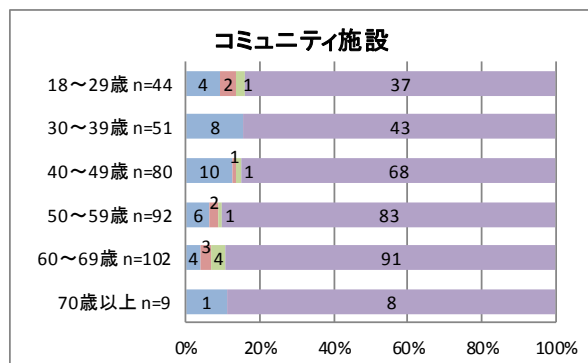
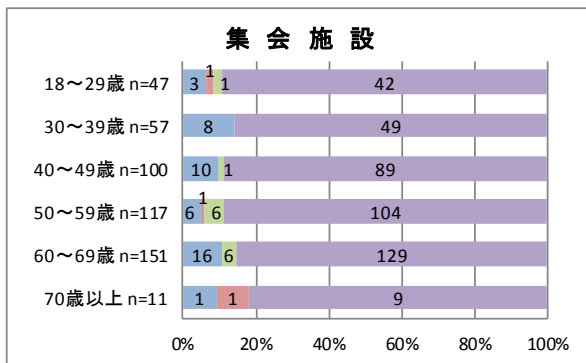
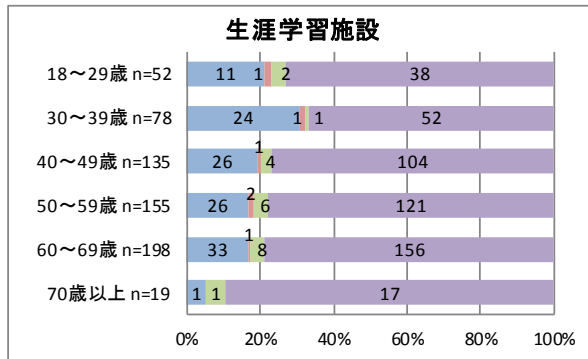
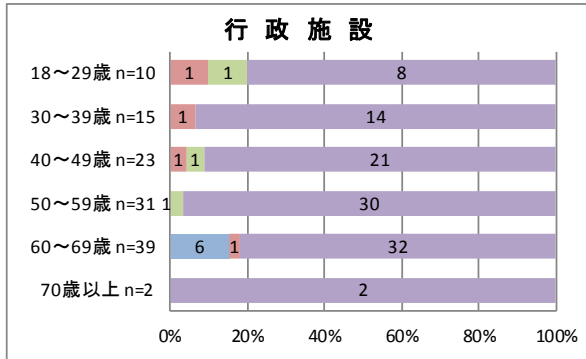
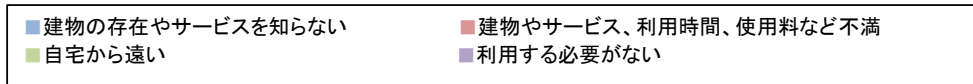
公共施設およびインフラ施設に関する市民意識について、年齢による傾向を分析するために、問2～問10についてクロス集計を行いました。結果は以下の通りです。※無回答を除いています。

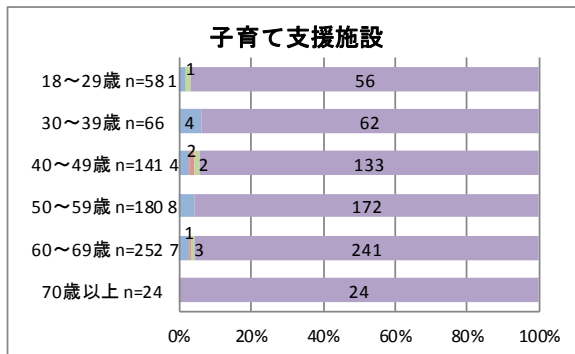
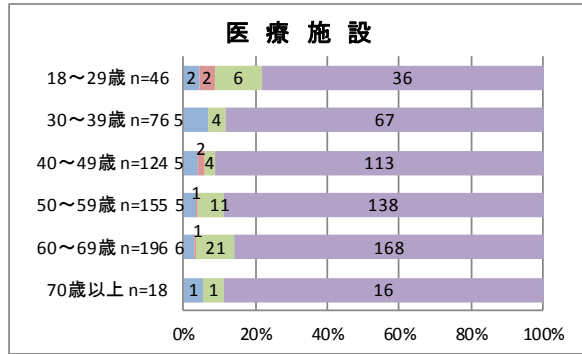
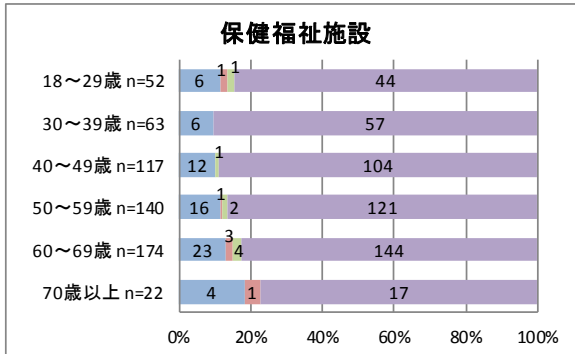
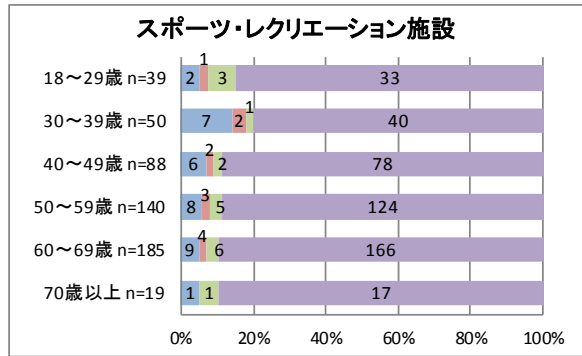
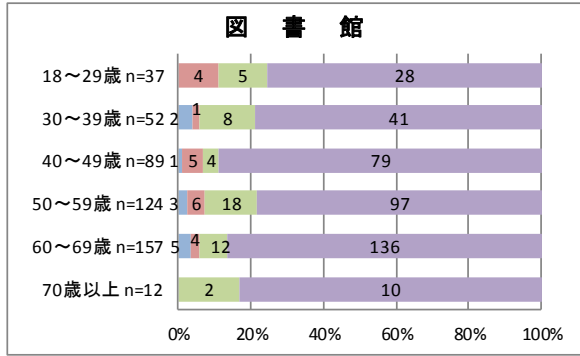
3-3-1 公共施設の利用頻度





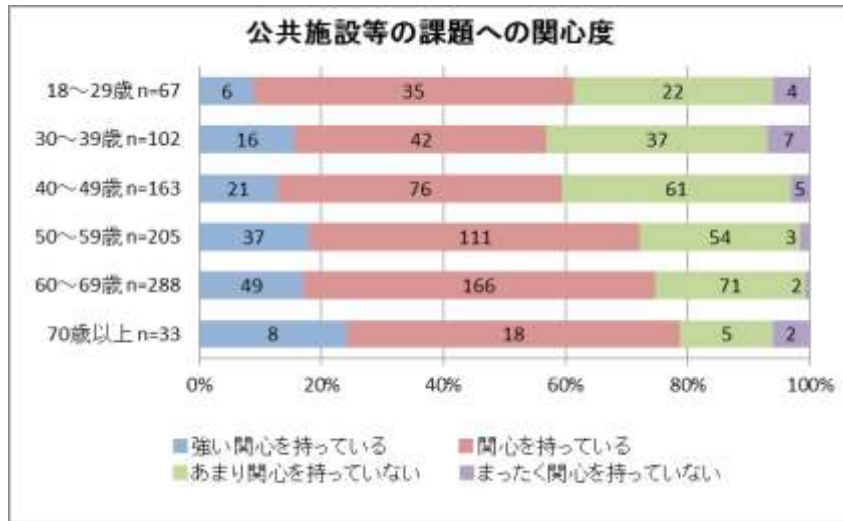
3-3-2 公共施設を利用しない理由



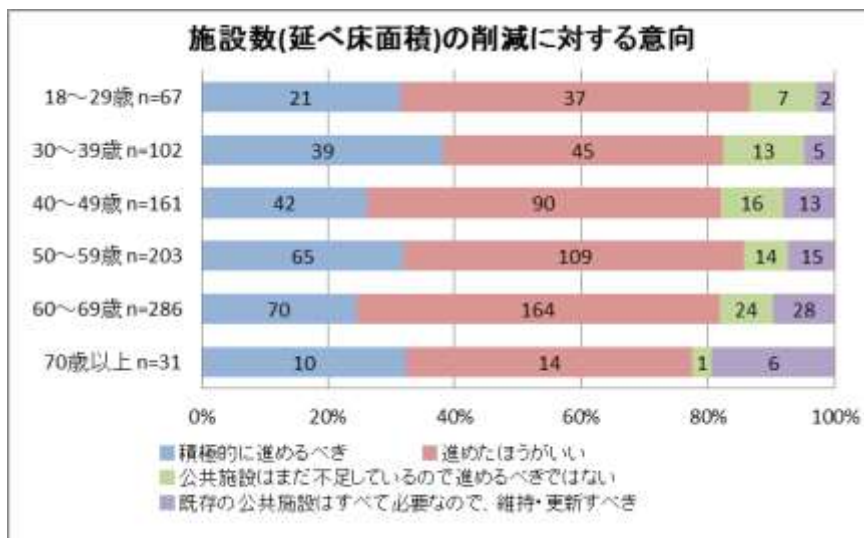


3-3-3 公共施設等の課題への関心度

・年齢が高くなるにつれて「強い関心を持っている」と「関心を持っている」の合計の割合が高くなっています。

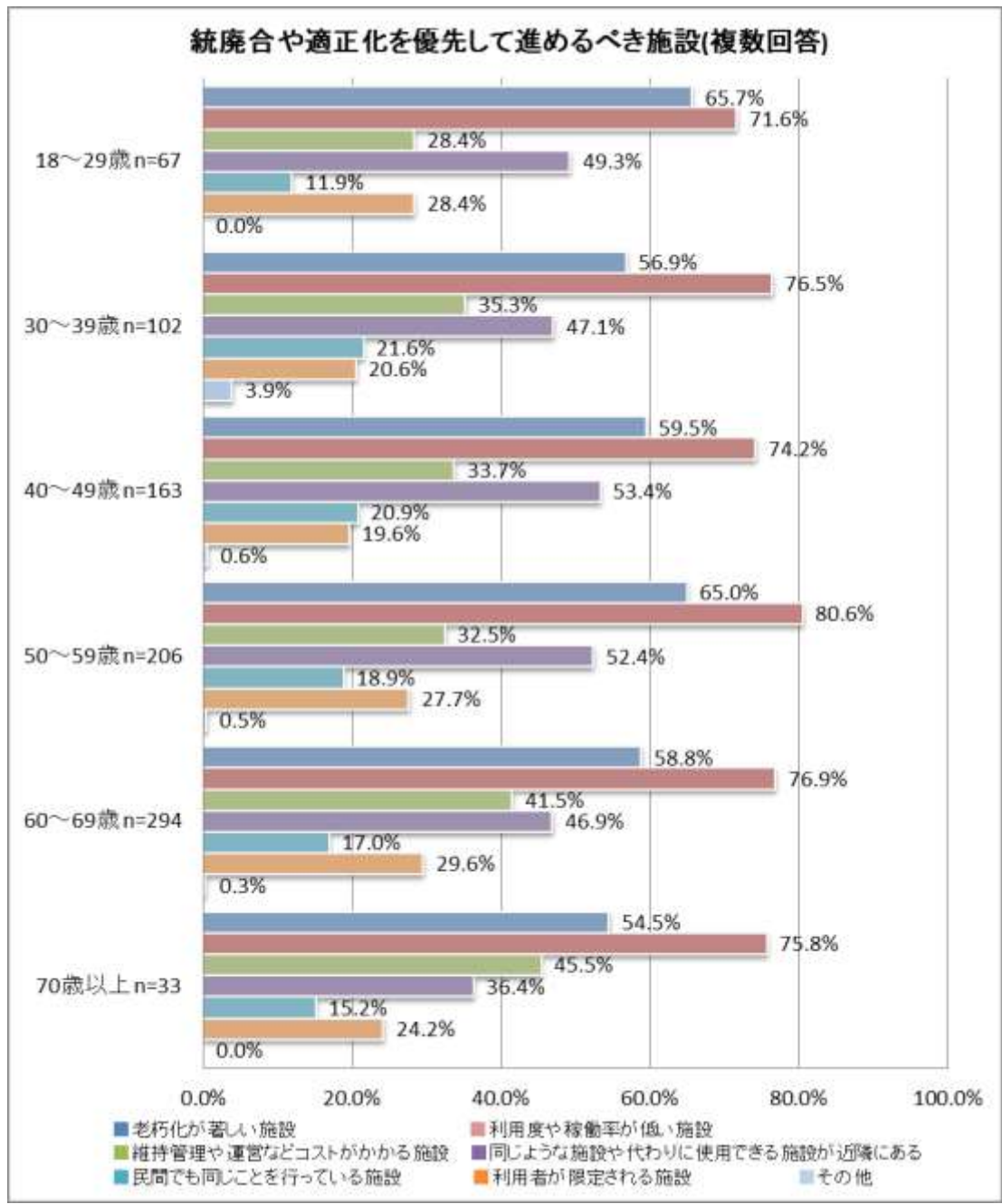


3-3-4 施設数(延べ床面積)の削減に対する意向



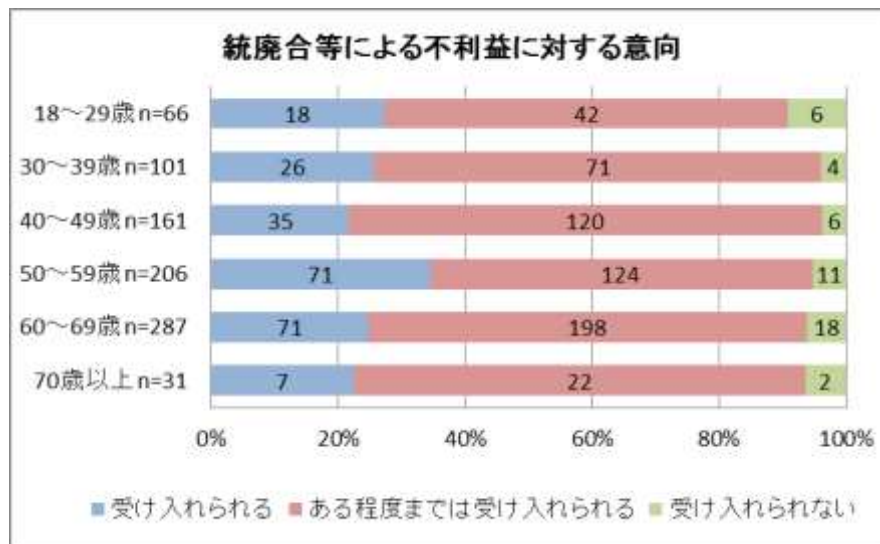
3-3-5 統廃合や適正化を優先して進めるべき施設

・すべての年齢で、「利用度や稼働率が低い施設」が最も高く、次いで「老朽化が著しい施設」が高くなっています。

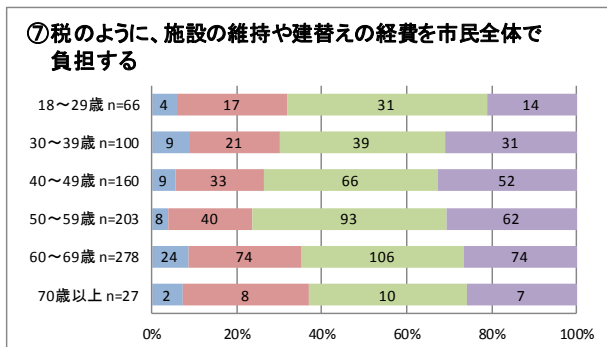
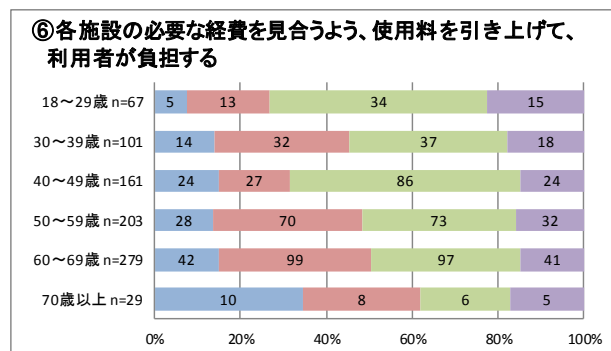
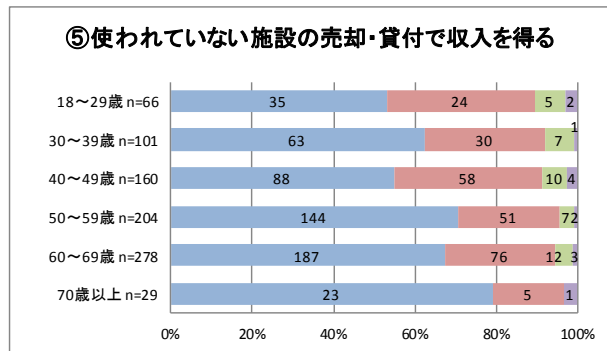
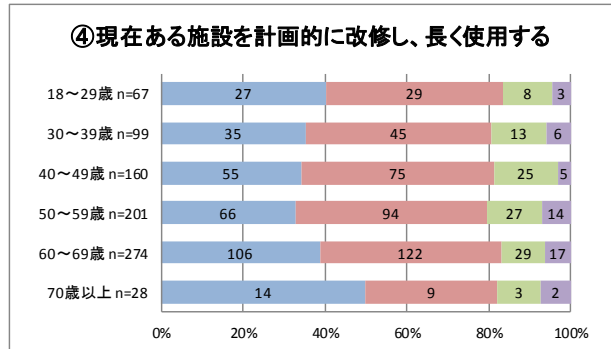
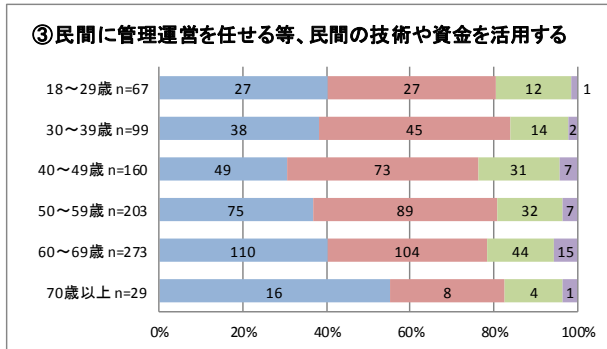
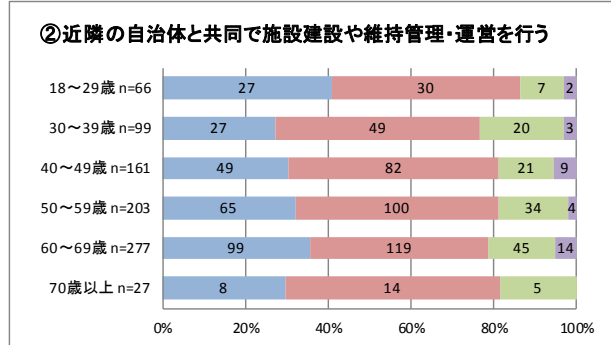
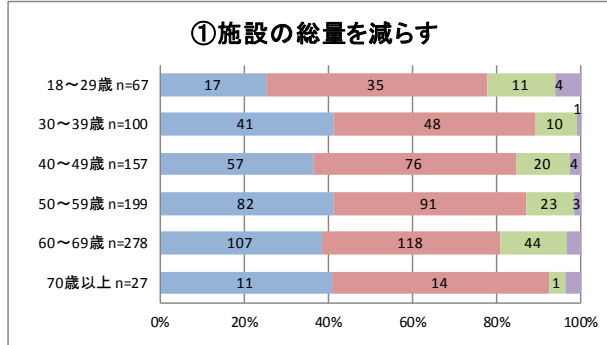


3-3-6 統廃合等による不利益に対する意向

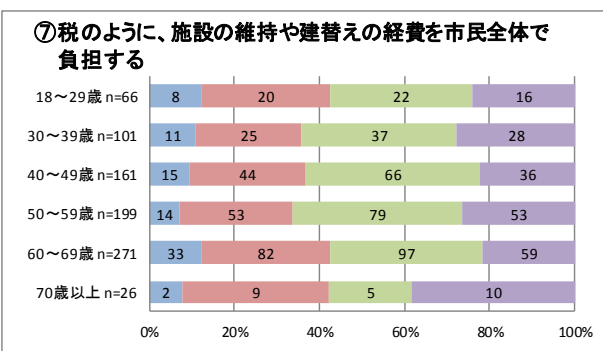
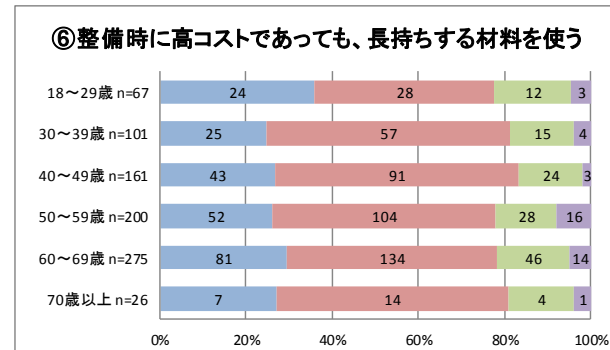
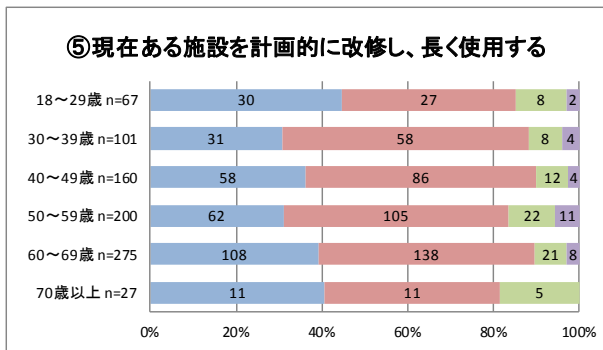
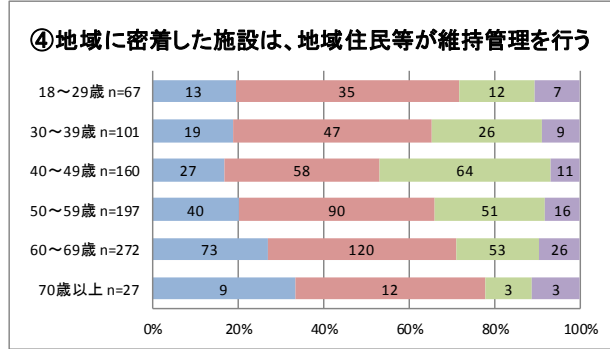
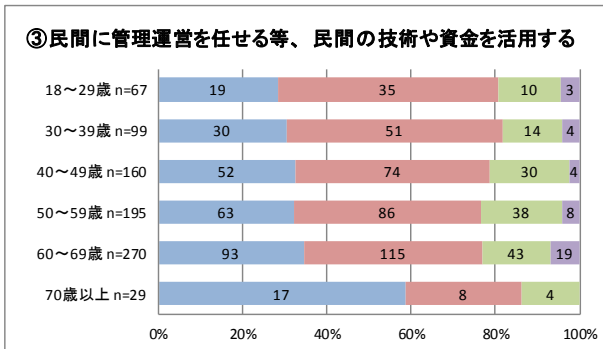
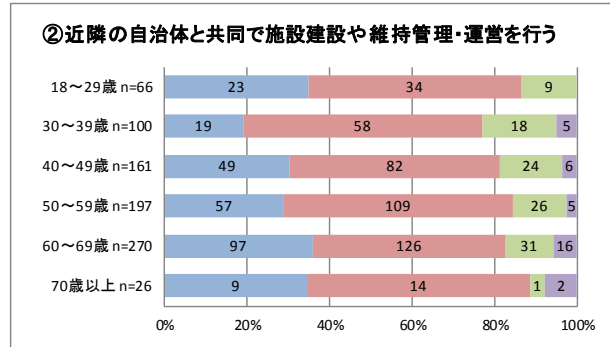
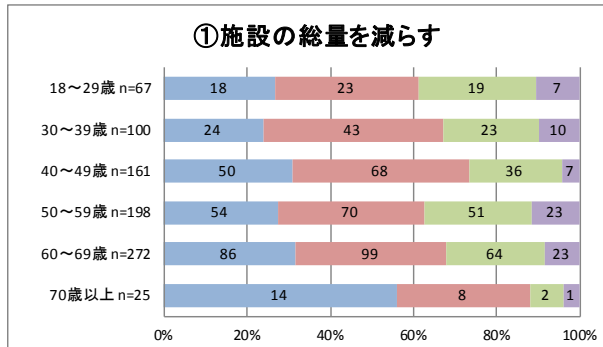
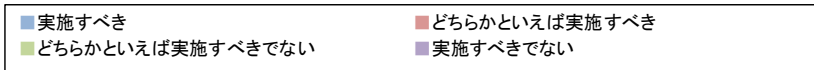
・すべての年齢で「受け入れられる」と「ある程度までは受け入れられる」の合計が9割を超えています。



3-3-7 公共施設について優先すべき施策

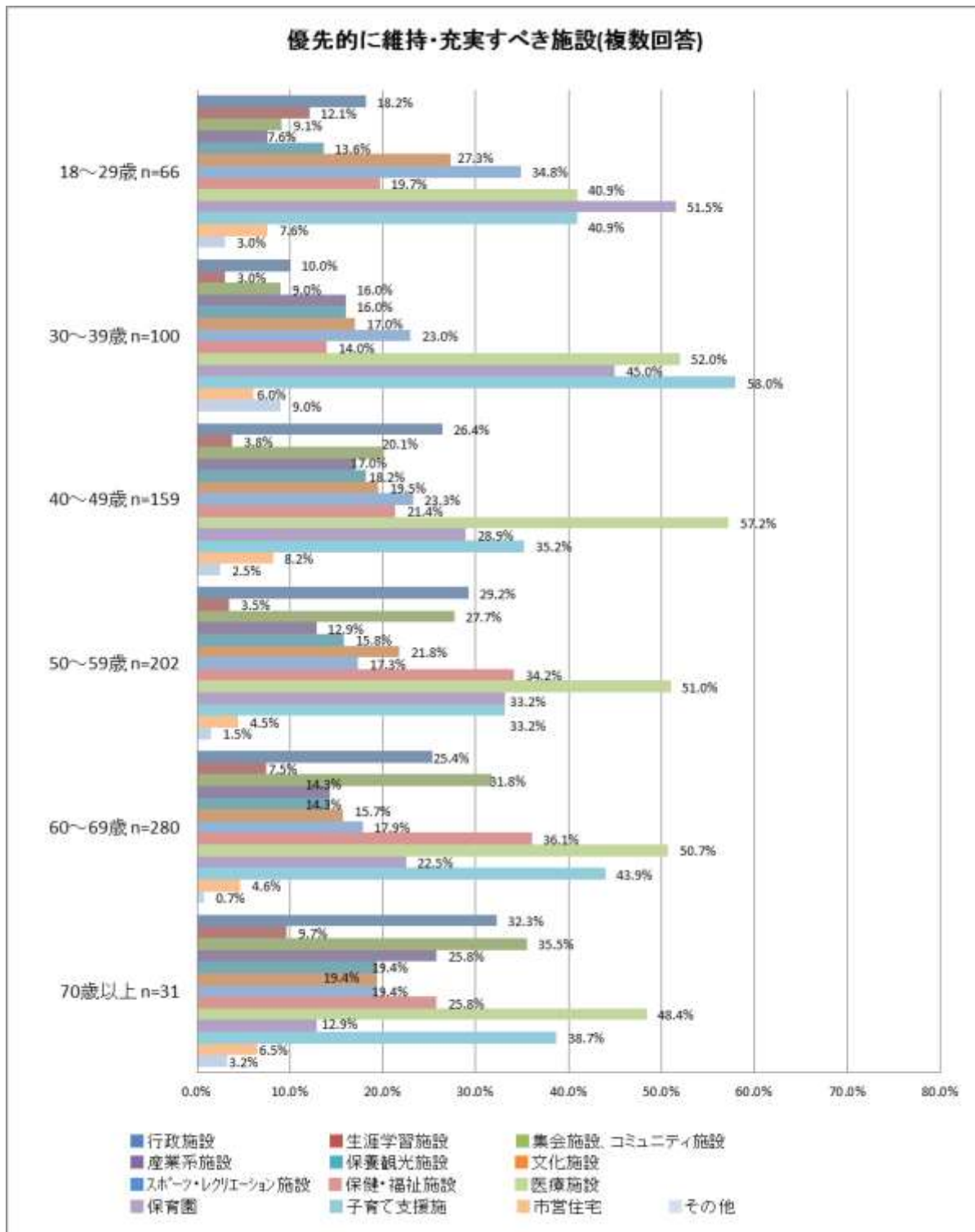


3-3-8 インフラ施設について優先すべき施策



3-3-9 優先して維持・充実すべき施設（複数回答）

・すべての年齢で「医療施設」の割合は高くなっており、特に18～29歳では「保育園」、30～39歳では「子育て支援施設」が最も高くなっています。

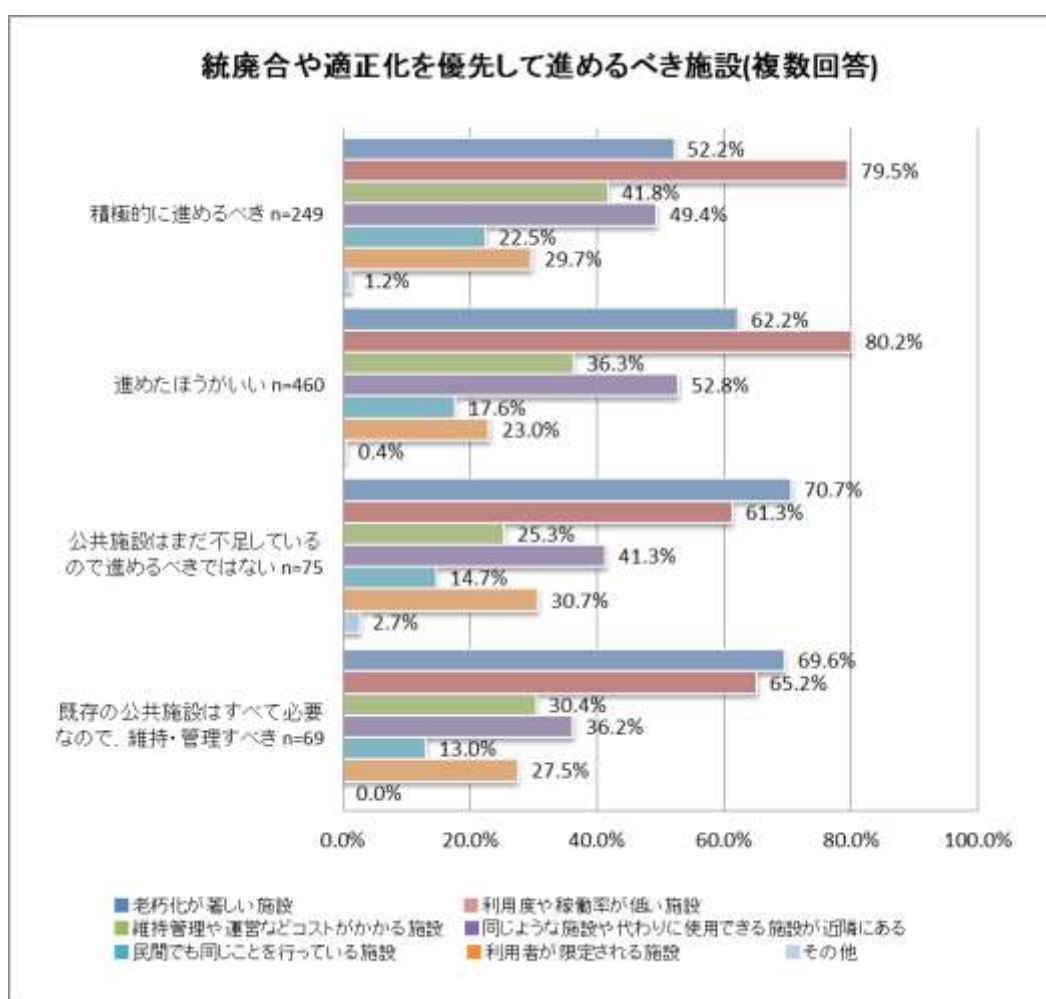


3-4 クロス集計結果 【 施設削減の賛否意識 】

公共施設の施設数(延べ床面積)の削減に対する賛否意識(問 5)による傾向を分析するために、問 6～問 8 および問 10 についてクロス集計を行いました。結果は以下の通りです。

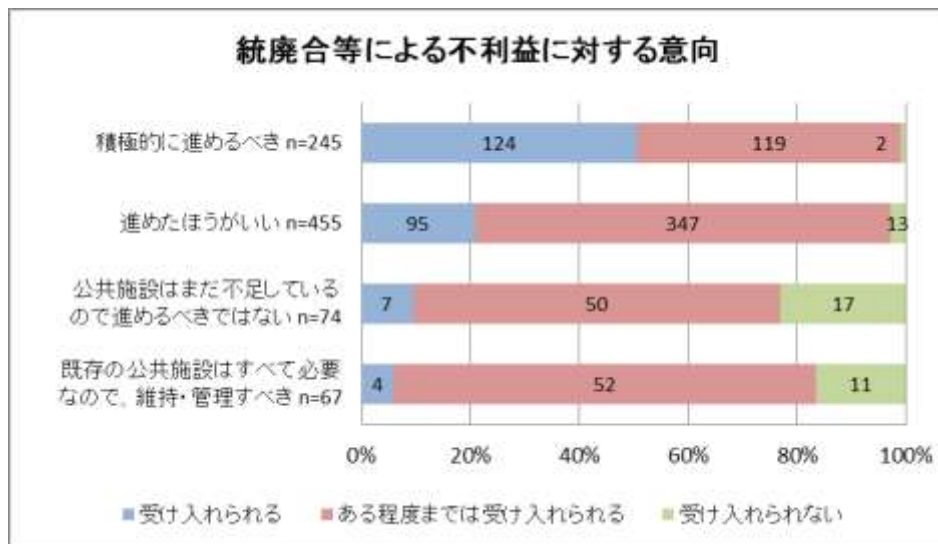
3-4-1 統廃合や適正化を優先して進めるべき施設(複数回答)

・公共施設の削減を肯定(「積極的に進めるべき」「進めたほうがいい」の合計)、否定(「既存の公共施設はすべて必要」「公共施設はまだ不足している」の合計)の意向の違いによる傾向は見られず、統廃合等を優先すべき施設は「老朽化が著しい施設」、「利用度や稼働率が低い施設」の割合が高くなっています。

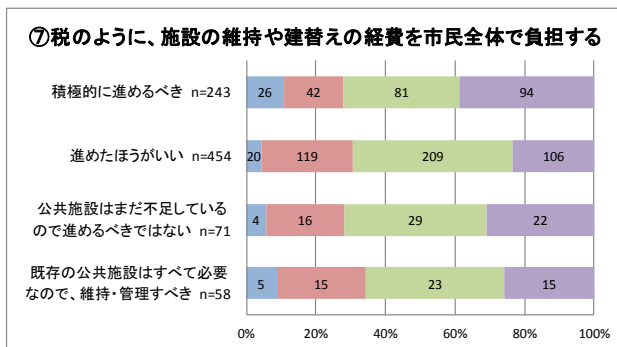
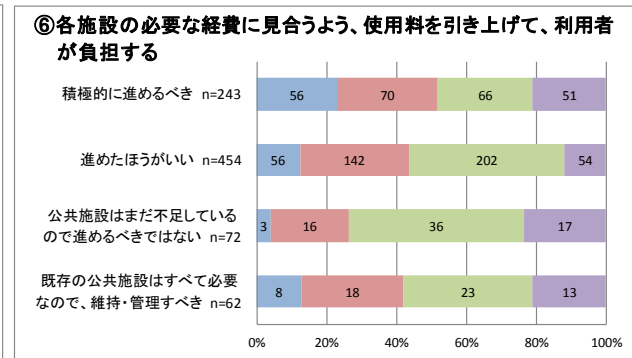
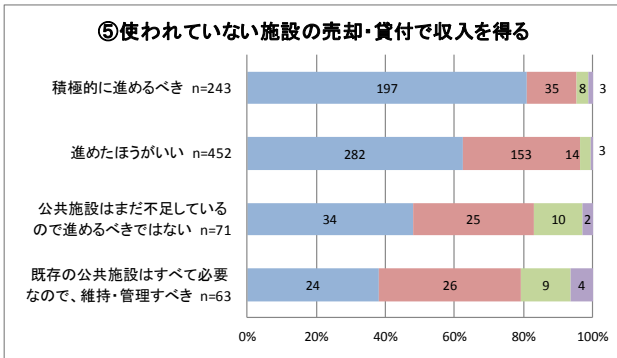
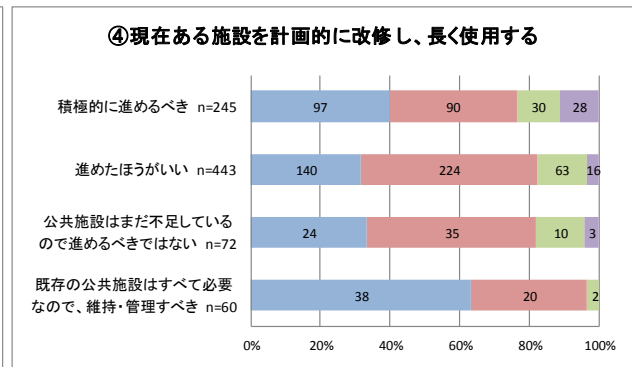
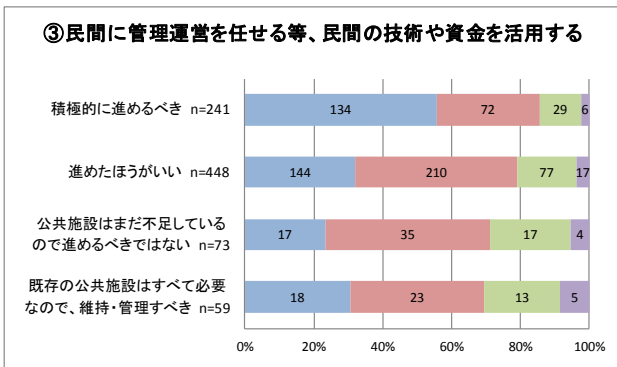
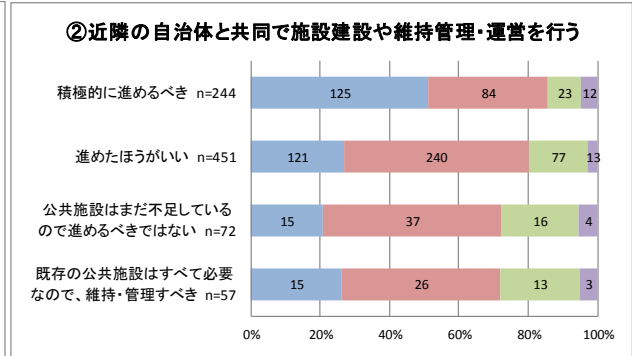
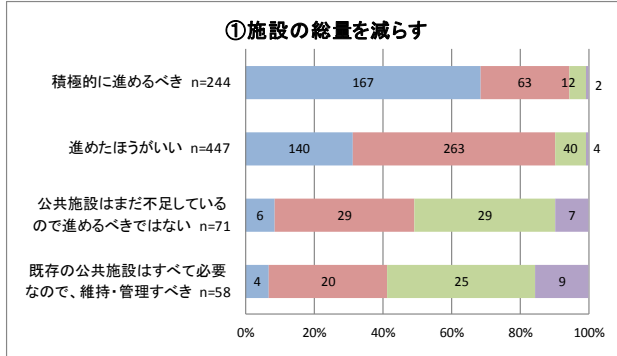


3-4-2 統廃合等による不利益に対する意向

・公共施設の削減を肯定(「積極的にすすめるべき」「進めたほうがいい」の合計)、否定(「既存の公共施設はすべて必要」「公共施設はまだ不足している」の合計)の意向の違いによる傾向は見られず、統廃合による不利益に対しては「受け入れられる」「ある程度までは受け入れられる」の割合が高くなっています。ただし、否定的意向を持つ方については、その割合が下がっています。



3-4-3 公共施設について優先すべき施策



3-4-4 優先して維持・充実すべき施設(複数回答)

・公共施設の削減を肯定(「積極的にすすめるべき」「進めたほうがいい」の合計)、否定(「既存の公共施設はすべて必要」「公共施設はまだ不足している」の合計)の意向の違いによる傾向は見られず、優先して維持・充実すべき施設は「医療施設」が多く、次いで「子育て支援施設」となっています。

